日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0239 - 0239
ENTERED AS S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

日米

日曜講壇

宗教に對する一つの態度

諺に曰く、鍋の蓋も偏心から。又曰く、信あれば得あり、何づれも宗教が生活であり實際的に疑ひなき結果を伴ふことを説く。何かは分らぬ。人はこれを迷信であると嘲り、愚迷である。馬鹿にするけれども、朝な夕な眞心を以て神を信じ佛を禮拝してゆく人間が、不思議にも自分のうちに満足がある。故にいかなる事をも順みず愈々信仰の生活に進むすれば益々信仰妙味を味はひ、此處に於て理屈に合んでも分らずやといはれてもこの明かなる事實を棄て、闇に行かない、これが宗教に對する一つの態度である。

◇

處が人間には悟性があり、理解力がある以上只闇もなく無鐵砲に信仰を持續するといふことは不可能である、これ即ちいくら得があるからとて鍋の蓋が信仰の餐照になり得ない所以である。吾々は自らの信ずる處の果たして理論上きれだけの根據をもつてゐるかを考へ、思索する處がなくてはならん。例へば宗教を信ずるものが最も普通に考へてゐるのは見ゐざる力の加護といふことである。神佛を信じて行くときに其處に必ず現れ來る處の結果は神佛が守護してくれるといふことである。處がこの考へ方が厚ん矛盾を生じ、必ずしも正しくないやうに思はれる場合に遭遇する。

◇

サンヌオンといふ輸入濃霧ゆるゝ一週んでゐた。忽ち、して衝突が起つた。七十幾人の多くの人が溺死した。この人達は凡て神の守護を受けることの出來ない人々ばかりであつたのか、神が人間を守つてゐるのに何故かの大悲劇が突發するのだらう。されば神の摂理なきといふことは決してあてにならない、それは單なる迷信に過ぎない、斯う一口にいつてしまつて良いのであらうか。

◇

なる程、それは非常な悲哀であれむべき事件であるがさういふことは別に神の善、神の愛、神の守さいふやうな事實を疑ふ理由にはならないやうである。地震、洪水、疫病、戰争が來ては人生には悲慘事が多い、然し見樣によつてはその悲慘事が人類を戒し、ために人間が進歩し向上し勇気を養はれ、童心を涵養せるに良い結果が伴なふ。それ故、これあるために神の信仰には絶對のないことになる。何故に吾々は神を信じなくてはならないか。何故に吾々は悲慘事や苦痛を絶わず吾々を襲ふ所ならなくてはならないか、さうひ、際をねらつてゐるから神によつて強くならなければならないと考へられる。

◇

こんな風にして吾々は自らの祈的の根據を生ずることもなくてはならない、信ずるといふことは自らの祈的の根據を生ずることもないのである。

◇

太古の宗教は皆神話であつた。蛇を拜んだり牛を神樣にしたりそれも信仰には力があつたのである。然し左樣なものを信ずる事は段々失はれて行つたのである、何となれば人間が道理を推し、考へるやうになつたからである。思索の心がいよ〳〵働くに從つて益々不道理な迷信が現代人の宗教が生まれ來なくてはならないのである、信仰は生くることであつて考へることではないといふ、然し考へなくてはならない。

◇

人間は生は存在しないのであるから、何となれば人間が道理を推し、考へるやうになつたからである。思索の心がいよ〳〵働くに從つて益々不道理な迷信が現代人の宗教が生まれ來なくてはならないのである、信仰は生くることであつて考へることではないといふ、然し考へなくてはならない。

◇

信仰は力があつたのである。然し左樣なものを信ずる事は段々失はれて行つたのである、何となれば人間が道理を推し、考へるやうになつたからである。思索の心がいよ〳〵働くに從つて益々不道理な迷信が現代人の宗教が生まれ來なくてはならないのである、信仰は生くることであつて考へることではないといふ、然し考へなくてはならない。

◇

信ずるといふことは人間が進歩し向上し勇気を養はれ、童心を涵養せるに良い結果が伴なふ。それ故、これあるために神の信仰には絶對のないことになる。何故に吾々は神を信じなくてはならないか。何故に吾々は悲慘事や苦痛を絶わず吾々を襲ふ所ならなくてはならない、さうひ、際をねらつてゐるから神によつて強くならなければならないと考へられる。

◇

こんな風にして吾々は自らの祈的の根據を生ずることもなくてはならない、信ずるといふことは自らの祈的の根據を生ずることもないのである。

◇

太古の宗教は皆神話であつた。蛇を拜んだり牛を神樣にしたりそれも信仰には力があつたのである。然し左樣なものを信ずる事は段々失はれて行つたのである、何となれば人間が道理を推し、考へるやうになつたからである。思索の心がいよ〳〵働くに從つて益々不道理な迷信が現代人の宗教が生まれ來なくてはならないのである、信仰は生くることであつて考へることではないといふ、然し考へなくてはならない。

◇

信仰は力があつたのである。然し左樣なものを信ずる事は段々失はれて行つたのである、何となれば人間が道理を推し、考へるやうになつたからである。思索の心がいよ〳〵働くに從つて益々不道理な迷信が現代人の宗教が生まれ來なくてはならないのである、信仰は生くることであつて考へることではないといふ、然し考へなくてはならない。

◇

信ずるといふことは人間が進歩し向上し勇気を養はれ、童心を涵養せるに良い結果が伴なふ。それ故、これあるために神の信仰には絶對のないことになる。何故に吾々は神を信じなくてはならないか。何故に吾々は悲慘事や苦痛を絶わず吾々を襲ふ所ならなくてはならない、さうひ、際をねらつてゐるから神によつて強くならなければならないと考へられる。

◇

こんな風にして吾々は自らの祈的の根據を生ずることもなくてはならない、信ずるといふことは自らの祈的の根據を生ずることもないのである。

◇

太古の宗教は皆神話であつた。蛇を拜んだり牛を神樣にしたりそれも信仰には

達者美形聯合の歌舞伎お芝居

けいこのぞき

桑港演藝主催の歌舞伎芝居が今一日、二日の晩夜、金門ホールで開演する

▲

桑場の役者さんは、その道に明るい鯱劇團の大河原・伊奈尾龍・横澤・藤井・中井といつた人々に、うすゞみ、みきり雨亭から小雪、ゞ子、あさ枝……いつた美形連、座敷には藤原夫人、奥貞子さん……この一座である

▲

人氣は久しぶりの歌舞伎として歡迎されてゐるが、その中でお稽古は、市川鰕十郎こと三藤氏の、振つけに、竹本義豊大夫の太夫地で、八月のはじめから毎夜、料亭うすゞみの大廣間で餘念なく出物は初日に『鬼賣桑』切狂言に『太功記十段目』、二日目は『奥州安達ヶ原』、切狂言『源平盛衰記』の四つ

▲

そのお稽古である。廣間を舞臺に見立て一座大童、洋服の人の奥方、一枚ひつかけの御大將、はゞ鰕の御内儀さまいつた面白い、だみ聲に、聲素面の大立廻りは又とない振つたもの

▲

だが、その素面ふだん着のまま、結構歌舞伎風分を作り出し、太鼓の音、太中の尾ケ崎、安達の袖萩祭文なぞちよつと聞いか記者もホロリとさせられた

▲

とも角鰕郎去つて一脈の淋しさを感ずる折柄、こゝ達者美形連合の書副芝居、二た晩は、相當人出を呼ぶであらうなほ桑場俳優藝名を被露すれば左の通り

市川歌團次　片岡燕宜　市川小雪　尾上義江　尾上松之助　市川三五郎　松本幸藏　中村ゝ子　尾上あさ枝　嵐真子　大谷小雀　阪東太郎

桑港にた馴染みの矢田石射諸氏の榮轉

外交官移動の噂話し

外交官移動話中常地關係者を招ルコ大使になるといふから矢田つて見る。ヲイこの程まで上海さんも次は大使か、元桑港總領事をしてゐた矢田七太郎氏だつた人だけに當地もお馴染みさん、今度は瑞西國公使に榮轉すると、アノむつかしい肯定に關し上海にあつて大いに男をあげた矢田さんもアイにくまれ口をきつたゝめ時の田中外相の逆鱗に觸れて上海を引揚たまゝその後太田當吉氏の後を襲つてスペイン公使といふ閑職に押込められたとの噂があつたが

幣原外相に引立てられ國際聯盟といふ大きな舞臺に轉ずるとアノむつかしい肯定に關し上海にあつて大いに男をあげた矢田さんもアイにくまれ口をきつたゝめ時の田中外相の逆鱗に觸れて上海を引揚たまゝその後太田當吉氏の後を襲つてスペイン公使といふ閑職に押込められたとの噂があつたが

亞細亞局長に榮轉にあふ、過般當地經由歸朝した齋藤元統領事は情報部長からトルコ大使館參事官になるとの噂もあつた。

サンオン號衝突と共に氣罐の爆發で僅か三分間に沈没

死者七十八名と判明

サンオン號の罐破による死者は南船衝突の際、サンオンの甲板から一人の男がころーとなつて命拾ひをしたとは珍しい幸運者である。

一人の婦人は子供をさつかりつかまれさけびそれからまた

サンオン號の罐破による死者は南船衝突の際、サンオンの甲板から一人の男がころーとなつて命拾ひをしたとは珍しい幸運者である。

一人の婦人は子供をさつかりつかまれさけびそれからまた

しあはせにダフド號の人に手渡しし、今更に日本語の必要を感じるもの多數なので、その自覚

研究心の物興をこの上なき事とし、その需めに應ずるために開設することゝなつたも

第二世青年の爲實用日本語教授

基青に新しく生れた『青年部夜學校』

次週金曜から開始

桑港日本人基督教青年會は今回同會内に「青年部夜學校」を開設することになり、早速次週金曜日(九月六日)から授業開始と決定した。その目的とするところは十八歳以上の第二世青年に實用日本語教授を主旨とし、傍ら健實な思想涵養をはかるのであつて

先づ同會青年部員を中心に、一般の眞面目な希望者を集め、極ジ的に堅實に協力進歩を計らうといふ方針の由。この夜學校開設に至つたのは第二世青年が次第に增加し、職業問題が刻々に緊急な問題となつて來た中、今、二世青年中には折角高等教育をうけながら、日本語の素養薄弱なため、就職の上に、又はあゆる場合に便々痛感する者少なからず、草の二種油、果實、穀物、材木、鐵鑛、閉校說教午後八時勤行、讃佛唱歌、歸敬文、說教、「慈悲の宗教」本山開教使

▲萬國聖書研究團　二千百六十ラデオ放送日曜夜九時十五分より十時十五分迄KFWMよ

▲天理教會　ポスト街一五八五日曜行事同說教午前十時半

▲佛教會　日曜學校　午前十時讃佛歌　歸敬文　山折　佐々

學藝品展覽會審査の結果發表〔三〕

佳作出品者二百六十七名

審査員會で發表

レヲドウード學園　繪畫　級方　書方
アイルトン學園　級方　書方
樓蘭學園　級方　繪畫
サンオン學園　級方　書方
スースン學園　繪畫
大正學園　級方　書方　繪畫
軍フロリン學園　級方　書方
メリスビル學園　級方　書方
モントレー基督教會學園　繪畫
マウンテンビュー學園　級方
フレスノ仲尾弘之　繪畫
アモナ補習學園　書方手藝品
タコマ學園　書方
セラキュース學園　級方
山中部學園　級方　書方
エルセントロ昭和學園　繪畫
モネタ學園　級方
ハリウード學園　繪畫
ガーデナ學園　手藝品
モンテベロ第一學園　繪畫
モンローピア學園　繪畫
羅府聖公會學園　繪畫
カンブトン學園　繪畫　級方　書方

昨年度桑港の貿易

二十三億弗

當市商業會議所の報告によれば昨年度桑港貿易總金額は廿二億五千七百七十萬弗に達し內譯輸入六百萬弗、輸出二千八百廿六萬弗內訳貿易五億八千百七十三萬弗內訳輸入二億二千二百八十六百萬弗、輸出二億二千二百八十萬弗である。なほ輸出總額數は近ち諸問題を解決に、國語、說教、四百萬噸金額二億二千二百八十萬弗、輸出品の重なるものは石油、果實、穀物、材木、鐵鑛、羊毛、皮革、綿花、生糸、ゴム、ガソリン、ラジオ、ラジウム、ラジオ、ラジウム、ラジオ、ラジウム

敢て人の子の親に捧ぐ
國友マリー嬢死の眞相（三）
今後「孤々さん」の自決するまで
【蔡轉載】

「二つの國の娘」の悲しき一生

ジムの友人達は、彼がマリーと結婚しようとしてゐるといふので、ジムを見下だしてゐた。彼れの教育は、マリーのそれよりも劣つてゐた。彼れの家庭生活は、彼女のそれに比べて、決して裕福でもなく洗練されたものでもなかつた。マリーの父親はジムのために職を得てやつた。ジムが、公吏採用試驗を通るやう、かの女は教導することをおこたらなかつた。幾度か、絶望的の助力もした。かの女の立派な了解あつたればこそ、ジムは一人前の男となれた——と云つて決して過言ではなかつたかうした事實あるにかゝわらず、ジムの友人たちは、この不遜を敢てしたのである。

▲

人種の障壁のいかに高きものであるかを知ると同時に、マリーは、己れの直面する地位の如何に恥ぢきものであるかを思つた。勢履のごとく棄てられた「婚姻」祭壇に待つ身は、おそらくかうした嘲けりの言葉をかの女のうへに浴びせるであらう。かの女の道義心をもつてすれば生きて恥ぢに人種の障壁はあまりに大きな厚味じあつた。こゝでもまた、かの女はアメリカ人にあらずして、日本人の娘であつた。

▲

白人の少女ならば、僅に二、三時間苦しもめば足りる小量の毒藥を服んで、狂言自殺をなし、世間の同情をひかうとする芝居を仕組んだから知れぬ、或は婚約破棄を理由としての慰藉料請求の訴訟をおこすものもあらう、感情もまた、かうしたことを別にあやしみもない。しかし、かゝる俗悪な偽瞞的逃避の企ては、勿論マリーの想ひおよぶ所でなかつた。

▲

「歳は泰山より重く、身は鴻毛よりも輕し」この言葉こそは數千年の古より、日本人の處世の座右であつた。そしてマリーはその言葉を知りすぎるほど知つてゐた。たゝへ省みて、己れに責任はないにしても、生きて恥をしのばうよりは、清ひある死を選ぶよしとした。

▲

されば、こそ—ルもチアルに心酔せず、己れの生涯に最後の章を閉ざすべき短銃を手にしたのである。かくして一路冥土へ、身は鴻毛よりも輕く。

▲

人の歴史は組先とともに始まる國友マリー嬢の牛涯の悲劇を了解するためには、綿人の歴史にまでさかのぼらねばならぬ。

國友信彌氏は東京に程遠からぬ茨城郡土浦に五百年の由緒ある名門武士の家にうまれた。後の章を閉ざすべき短銃を手にしたのである。かくして一路冥土へ。身は鴻毛よりも輕く。

▲

國友信彌氏は東京に程遠からぬ茨城郡土浦に五百年の由緒ある名門武士の家にうまれた。氏はその十一代の當主なのである。氏の父の弟、つまり叔父を通じて、國友家は華族柳澤家の一門にむすばれてゐる。日本の習慣によつて、この叔父は己れの榮ある生家は兄のあるかぎめこれをつぐことが出來ず、つひに上記の部にはダイニング、ルームをつゝ月半で完成する見込のよしほる陽餃を設け、オフィスの背くる由で工事に着手すれば約一

▲

國友マリー嬢の悲劇は、彼がマリーと結婚しようとしてゐるといふので、ジムを見下だしてゐた。彼れの教育は、マリーのそれよりも劣つてゐた。彼れの家庭生活は、彼女のそれに比べて、決して裕福でもなく洗練されたものでもなかつた。マリーの父親はジムのために職を得てやつた。ジムが、公吏採用試驗を通るやう、かの女は教導することをおこたらなかつた。幾度か、絶望的の助力もした。かの女の立派な了解あつたればこそ、ジムは一人前の男となれた——と云

開教本部と桑佛の
卅年記念祝賀會
來る十一月に三日間
澤山な餘興を添へて擧行
本山から特派使

桑港に佛教會が建てられてから當に三十年、同時に北米開教本部の創るを以て三十年に當るので、その十一月一日、二、三の三日間盛大な三十年記念祝賀會を催すことになり、すでに下準備を進めてゐるが、大體の順序はまづ第一日を本部の記念敬禮會、第二と第三日は桑港教會の祝賀會をするはずで式には特に

京都本山から遠山正導師が派遣されて來桑するほか、州内は勿論、州外カナダ等の各地教會から全部の開教使が參列して敬禮法會を勤修し、三日にわたる祝賀餘興も大々的に催される手はずであり、それを機會に記念事業の計畫もあり、同時に會堂の外廓、内陣その他に修繕を加へて新整面目を新めることになつてゐる。なほ祝賀會前日には北米開教使會議、門信徒代表會議も併せて開かれるが、それには各地から信徒代表者が多數參集のはず。詳細はいづれ近々發表されることになつてゐる。

▲

外交官移動の噂、此處總領事館にも多少の異動が行はれる事だらう。館内の空氣はなんとなくざわめいてゐるが、この秋の異動は全般的、行はれるものであるらしく幹部級の異動にともふて全體がうごくのが通例だといふ。しかも内閣もかはつてゐるこゝだし今度の異動はかなり徹底されてゐるとだらうと想はれてゐる。

當地總領事館も
色めく
外交官移動で

もう四年二ヶ月もお勤めしたかも今度は無事に榮轉されるものと思はれてゐる。

▲

ジムの友人達は、彼がマリーと結婚しようとしてゐるといふので、ジムを見下だしてゐた。彼れの教育は、マリーのそれよりも劣つてゐた。彼れの家庭生活は、彼女のそれに比べて、決して裕福でもなく洗練されたものでもなかつた。マリーの父親はジムのために職を得てやつた。ジムが、公吏採用試驗を通るやう、かの女は教導することをおこたらなかつた。幾度か、絶望的の助力もした。かの女の立派な了解あつたればこそ、ジムは一人前の男となれた——と云

活動期に入つた
基青會少年部
新會員四十名を加へて
總數百八十名の健兒達

サター駅基青少年部では本庭道雄君指導下に休暇・鍛へた元氣で再催したが出席者は本紙を以て、昨卅一日の土曜から秋期活動シーズンに入つたが、今期からは會員も約四名增加し、七人の組を合せて會員總數百八十餘名、シーズンの活動プログラムは、今週中に作製のうつで、さしづめバスケットボールの練習を月曜（一日）から開始することになつてゐる。なほ決定した少年部各組のリーダーは左の通り

▲マスケティア組　龍野正治
▲ミュンツト組　瀧口ウイルバー　高尾進　山川男
▲アドベンチャラース組　木野、五、六、三、三、三、六、六、三、三、三、三
▲エスプレース組　木庭道雄
▲カムラド組　同上
▲アラムナイ組　同上

加大新入生
歡迎晩餐會

州立大學の同胞諸君一學年生、生徒で一昨夜晩餐に生十四名が歡迎

日本ホテル
擴張工事
近く着手

ラグナ街日本ホテルは同街二五一の入口は久しく不便を感じたので、今回ポスト街に改めて改善を計畫中だつたが、今回ポスト街に改めて改善を計畫中だつたが、今回ポスト街に改めて改善を計畫中だつたが

株式

實物中直表

(八月十三日調・單位十錢)

▲銀行株

日銀	二百圓
正金	五五〇
鶴鮮	百圓
勤銀	一九五五
臺銀	五〇
興銀	百圓
第一銀	五〇〇
安田銀	五〇
住友	五〇圓
東農工	二〇〇
第四銀	五〇〇
北海道	五七二
三井	五〇四
三菱	三四一
東京火	五七〇
日本火	五〇〇
濱火災	五九〇
共同火	一一五

▲保險株

帝國生	一九九〇
東洋火	三一五
東京火	六〇〇
日本火	四〇三
濱火災	二〇〇
共同火	二二五
新三菱	三〇〇

▲電鐵株

東武鐵	百圓
京濱鐵	五〇〇
南海鐵	五二八
東王鐵	五三五
阪神鐵	六七八
京成鐵	六九〇
地下鐵	七〇〇
小田急	一八八
小田鐵	二二六

▲電力瓦斯株

鬼怒川	四六五
九州水	六六〇
北海水	五〇〇
北海電	五〇〇
臺灣電	五〇〇
吾妻川	三〇五
東京瓦	三八〇
大同電	三五七
東部電	四九〇
東邦電	五〇〇
北瓦斯	五三八
東京電	四七四

▲船舶株

郵船	五〇〇
商船	四〇三
石川島	一六五
横濱築	三〇〇
浦賀	三六〇

▲鑛業株

北海炭	五〇〇
三菱鑛	五〇〇
東洋鑛	四二五
北樺鑛	一一〇
新日石	五一三
東京網	一九三
	四二九

▲紡績株

鐘紡	二四五九
富士紡	五九五
日清紡	五〇〇
同新株	一二五
東洋紡	四二〇
片倉	二七七
帝國麻	五〇〇
京モス	五〇〇
洋モス	一〇〇
合同毛	五〇〇

▲砂糖株

日本糖	六六二
鹽水糖	一二六
臺灣糖	七三六
同新株	二四八
新高糖	五〇〇
明治糖	七七八
同新株	二〇〇
帝國糖	五〇〇
臺南糖	四〇〇

▲諸株式

日本麥	一〇六三
富士紙	六七四
王子紙	五三六
同新株	五三九
樺太工	一一二
日清粉	九四一
人造肥	四〇三
淺野セ	九四三
磐城セ	六〇八
自動車	二二八
三越	一三三
新松屋	六三三
白木屋	三六〇
同新株	二六二
日本水	五一五
日活	四〇〇
三共	五〇〇
新森永	七五二
日魯	二八七
航空	五四〇
無電	二二五
	一七八
	三〇〇

▲取引所信託株

東株	一三〇
濱株	三三八
代行株	七七二
大株	二九〇
安田信	一四一
住友信	二八〇
千代田	九七

桑港市況

八月廿一日

休日氣構へから 入荷は薄く買氣擡頭

▲概況 休日を前に控へ、二日、詰二四五十俵ローカル產ドビンズ、ライ、バラク九十俵から一弗まで、賣ゆき可なり筋では買り殘り品が出來たら馬鹿を見るとの懸念から、出荷を見越しの買すゝみもあつて、休日に入荷品は捌けた模樣。

▲レモンとグレープフルツ 今朝の兩種市場は極度に强氣を呈したが、ある商人筋の見越しでは加州内に市場へ賣りだされるべきレモンの在荷は僅に百二十貨車に過ぎず、毎日十貨車乃至二十貨車の出荷を見てゐるので、相當に狂騰し、飛びぢり品は十弗から十一弗まで引締つた。グレイプフルツの大サイズ物は在荷極めて薄く、六十四サイズで九弗の高値、八十七サイズで六弗七十五仙、百サイズ五弗まで、やや市況好化し、ドロップ五十仙から六十仙、賣盡した模樣だが、ブラックやラスは安く、ラスの如きは二十五仙內外でキャリーが買取つてゐること。

▲ブドー タムソンは五七十仙、ラズベリー殘實品は三四十仙の安値。今朝入荷極めて薄し。マナガやモスケはまづ一弗までなべ、トート一弗から一弗二十五仙、レディー、フインガーは一弗から一弗五十仙まで。ペヤーとピーチ、相場は大體變らず、賣ゆきは可なり良好。

▲メロン類 一般に氣乘薄く、キャンタローブは標準クレーン弗まで種に飛ぶり品は一弗十五仙、西瓜は一仙から一仙四分の一、ハネデューは一弗十仙から一弗三十五仙まで、ペルシヤン一弗から一弗五十仙、何れも品質によつて値幅だしい。

野菜類

▲レタース ワツソンビル深氷プラム

桑港市場

八月廿一日

果物相場 標準卸値

單位仙

アプル 箱	四テヤ
グラベンステーン	二三五
ピヤメン	二三五
グレプフルツ南 箱	吾五
バナナ 布哇 封度	四
西瓜	四〇〇
桃	吾五
ラスベリクレート 箱	四五
ブラック	吾五
エルバタス	吾五
クリング種	二〇〇
ペヤー パトレット	二〇〇
西瓜 封度	二四分一
カサバ	二四
キヤンタロプ 標準	吾 二〇
ハネデュー	二五
ペルシヤン	一〇〇
葡萄 タムソン ラグ	吾
モスケ	吾
マラガ	一〇〇
トオケイ	吾 一〇
	二〇

月曜市場休業

來る月曜日(九月二日)は勞働祭に當るので、桑港野菜及果實市場は休業すると。

野菜相場

ポンチ物ビーツ 打	吾
キャロット 打	吾
トマツプ 打	吾
ラデシユ 打	吾
青蔥	一〇〇
地方	一四半
ビンズ 斤	五六
ライマ 斤	三五
コーン サック	二五
カリフラワー 打	吾
キヤベーヂ 百斤	吾
ペパー 封度	三半
ナス 羅府	吾
レタス 地方物 ラグ	吾
アルオ	二五
赤 袋	一〇〇
黃 袋	一〇〇
ビー 半月 袋	六 一〇
ポテト	
スタクトン 袋	二五 二〇
袋入野菜	二五 二〇
ビーツ	二五 二〇
キヤロット	二五 二〇
トマツプ	二五 二〇
白	
蕪	一〇〇 二五
ラグ	吾 一〇〇
	二五
	吾
	出

フイグ ミション 單 吾 吾 吾

南加版

支社電話（MU）ユーニーク八四一五

水泳の猛者を揃へ 早大遠征軍渡米か

世界記録所有者も網羅 島内氏に萬事依頼

早稲田大學水泳部ではさきにオレゴン、エール、トロントの各九、二二に今度開業したが評判がよいとの大學並にクーヴァランド巡動クラブ等から渡米を勧誘して來たので遠征を計畫してゐるが、渡米期日は約一ヶ月、その間十二回全米各地で試合する豫定で

水泳部はオリンピック大會に日本出場水泳選手九名中六名を出したほどの優秀選手を網羅してゐるが今度の遠征軍中にはアクの世界記録所有者入江選手を筆頭に木村、松本、東に八百メートルの日本記録所有者高山、中距離の竹林、米山富永、長距離の新井、短距離の田等、猛者をそろへ羅府では南米、ハワイ、ブラジル、ペルー、ボリビヤ、メキシコ、ハバナ、ニューヨーク、ロンドン、パリ、ベルリン、ローマ、ストックホルム、ヴェニス、ウィーン、ブダペスト、ベルグラード、ブカレスト、ソフィア、アテネ、コンスタンチノープル、カイロ、ブラフチック大學に世界的にしられてゐる高石、勝田大學その他を試合したい意向で目下交渉中であるが、既に東京支社の鷲谷氏が通じて羅府日米社の島内氏に幹旋方を依頼して來たので、本社にも電通就を通じて依頼して來てゐる

岡村女史 開業

羅府カイロプラフチック大學並びにナチロプラフチック大學を卒業した岡村女史は、既に開業したが、既に多くの賛成に大衆文藝的な新作品を作製するにつき羅府港投錨中公私團體の撮影せる寫眞なども個々の歓迎に關する寫眞材料を寄贈してもらひたいと羅日會宛依頼して來た。日本では未だ嘗て寫眞の公開されたことは無いが、今度は是非とも公開したいと思ふ。

美人で美聲 奈良千代 凄い人氣

ロサンゼルス、ハリウッド、ビバリヒルズ、ロングビーチ、サンペドロ、ポモナ、ポートランド、シアトル、ヴァンクーバー、ビクトリア、ニューヨーク、ボストン、ワシントン、ボルチモア、フィラデルフィア、シカゴ、ニューオーリンズ、ヒューストン、ダラス

フレスノ【支社電話二三八一八 卅日】 來年度の葡萄安定いかん

サンメード會社が暗影を前途に投げる

レーズン救濟の資金融通の件故發表されてゐる に最初の計畫のごとく安定 に下附せらるゝ耕作者多數の厭がるサンメード會社に委ねたが は一部有識者の中に非難され、 これ正しく

▲資本家を保護 するもので耕作法を救濟せんとする農業救濟案の精神を沒却した措置なり 極論するものを生じたこと報 した通りであるが本年は收穫減 案の精神を沒却した措置なり 極論するものを生じたこと報 のために兎にも角に救濟資 金の下附とで相當に値段を向上 せしめて

▲耕作者に光明 を認めしめたことは爭はれ得ないが來年度の計畫において再び農業救濟局が 依然としてサンメード會社に重 きを置くごとくならば恐らくは多數耕作者は滿足を表すまじく、まゝ僅に

▲三四十パセント のコントロールしか有しないサンメード會社では恐らく効果ある救濟に指 得てゐるが寡眞に趣味をもつ人々の好感を與ふるものとなし 難し

●豪華な結婚式 吾八氏とオロサ岡崎はつ子嬢の結婚式は廿六日午後二時岡崎 家にて執行され媒介人中野佐市 原田庄松兩氏夫妻を始め兩家の 親者四十餘名列席し大石牧師 殿鼎に司式し麗洒なフレシュ メントの饗應、紀念撮影の少 憩の後、デレノに一同車、驅せ 待し日本料理の披露宴を張り賑 興、榮之助氏司會下に原田庄松氏 の所郎、新婚の介、日米新聞社 代表折茂吉太郎氏その他の代 表者の祝辭あり宴を移りて宴客 歡を盡したが詳細はデレノ通信 に譲道すべし

●デレノ河畔 の結婚式 デレノ河畔 の結婚式 デレノ河畔 の結婚式

サクラメント（卅一日）

想像以上に卓越の日米兒童學藝品

入口美々しく飾られた二ケ所の會場は來客を待つ

七十五周年記念のダイヤモンドジュビリー加州大共進會は華々しく開催されたが、これと同時櫻府實業會主催の母國並びに加州あゝ嗚小學校生徒の學藝作品の大展覽は第三街第四街兩會場に陳列され三日間公開されることになった。入口も南方共に美々しく飾られ内に入れば優秀なる兒童の學藝品に綺麗に手工品に陳列され習字に繪畫に作品と驚かれる卓越の者も決して少くない。ステージ・フェヤー見物に來る程の同胞は必ず此處に寄ふて訪ふてこの二ケ所の展覽會場に歩を運び縦覽されたきものである

報機は九月三日午後一時櫻府佛教會でいとなまるべし

●武正夫氏東行　當市ユニオン保險代理の武田正夫氏はユータ州に開かれる第四十萬弗クラブ年會に出席のため卅日夕刻東行したが九月十五日ごろ歸櫻の豫定

▲基督會　午前九時半日曜學校　同十一時禮拜説教〔御子の懷ろに居ますひとり子〕声名牧師　午後八時半共助會題〔御子肉の戰場鶴見吉〕

▲美以教會　午前九時四十五分日曜學校　同十一時禮拜説教題〔勞働祭を迎ふ〕渡邊牧師　午後七時半エポース英集會

▲浸禮教會　午前九時半日曜學校同十一時禮拜説教〔二種の新鑄〕　午後七時ビ一ヨ開會して市稅レートを弗換道集會〔惱みより救はるる命〕土方牧師　午後八時救世軍　午前十時　日曜學校　午後七時　野戰　午後八時救天理教會〔聲なき聲〕松島大尉「里の仙人」岩間牧師

▲日曜の諸教會

日曜の諸教會

▲美以教會　午前九時半日曜學校　同十一時禮拜説教〔勞働祭を迎ふ〕渡邊牧師　午後七時半エポース英集會

▲浸禮教會　午前九時半日曜學校同十一時禮拜説教〔二種の新鑄〕　午後七時ビ一ヨ開會して市稅レートを弗換道集會〔惱みより救はるる命〕土方牧師　橋坂策一司會　午前十時　日曜學校　午後七時　野戰　午後八時救天理教會〔聲なき聲〕松島大尉「里の仙人」岩間牧師

高倉女史の琵琶演奏會

聽衆多數で盛會を極む

女流筑前琵琶界の權威たる高倉旭子師の琵琶演奏會は昨八月廿日午後八時より第六街アメリカン、センター教會堂に於いて開催されたが聽衆六百餘名正に滿場の盛況であつた。檜垣阿部　木村諸嬢の應援合奏「君が代」　波多江嬢の赤垣源蔵　大橋ユノ嬢の川中島、降矢姉妹の鼓太鼓　井筒家師匠の三味線加へた浦島も好評を博し市場旭紅市を中心のサンオキ郡において嬢の名琵琶の櫻　高倉師の阪本龍馬師弟合奏の鉢の木流石に搬爽やか音、豪壮な撃調と相俟つて聽衆を感激させた

井神信隆氏シャモを出品

ステーク・フェヤーに河下フードの農業家和歌山縣人井神信隆氏は本年二月渡米に際し日本から持ち來りし大島（シャモ）を今回開催のステーク・フェヤーに出品したが其逸の人々から注目されてをる

名活動寫眞カバードワゴン

九月一日に日本座で

名監督セエムス、クルーズの傑作で加州發當時の歴史如實に描いたカバート・ワゴンの活動寫眞が本月九月一日にエルシノア街日本座で映寫される。右活動寫眞の一部は西サクラメントの牛場撮影されたものである

●吉永、國重兩氏渡米　防長會の代表として櫻府支部では來る十一日の太洋丸に體國する吉永秀甫、國重惣之亟兩氏のため本月一日午後一時より櫻府大街メーン、カフエーで送別會を開催する

●繁野氏ミセス急死　當市エルドラド街で帽子洗濯所を營む廣島縣人繁野登一氏ミセスは急病に去る八月二十九日午後十時死去したが

九月から學校生活

スタクトン　卅日

●學校便り　當地ユニオンハイ校は九月二日より、小學校は九月十日より何れも開校新學期を開始するが、佛教會附屬邦語學校は九月三日より開校する期日は河村幹事が出張して萬端のお世話をするよし

●新入學希望者へ　この新學期より新入學希望者は田村、引田、里中、古川、宮本、清水、中西、橋本の諸氏および久保田、竹鼻の諸夫人、清水、松永、志々田の諸氏なりと

●新入學希望者へ　この新學期より新入學希望者は今のところ二十四五名の見當は今のところ二十四五名の見込となる見込である。九月三日よりグランマー、スクール、ハイスクールは九月三日より開校する。

●最近まで和歌山縣人久間虎之助氏總領事の令同都合より同氏夫人鶴賀太郎氏夫婦に讃わしに同氏夫妻は九月一日より營植繁織大勉強する由

●混花亭代替り　當市の混花亭は最近まで和歌山縣人久間虎之助氏總領事の令同都合より同氏夫人鶴賀太郎氏夫婦に讃わしに同氏夫妻は九月一日より營植繁織大勉強する由

●先週は十二貨車　當地方の農繁期になつて今週は十二貨車の東部輸送。それで本年は總計七九七貨車。昨年の今日は既に一〇〇四貨車の果實が東部に輸送されてをつた

●奚兄會記事　去る八月十一日、古川、宮本、清水、中西、橋本の諸氏および久保田、竹鼻の諸夫人、清水、松永、志々田の諸氏なりと

●奚兄會記事　去る八月十一日、古川、宮本、清水、中西、橋本の諸氏および久保田、竹鼻の諸夫人、清水、松永、志々田の諸氏なりと

馬鈴薯

一弗一二十五仙

現在ほりだしつつある馬鈴薯は冬期の貯蔵に堪へない早物であるが須市河下からも相當の出荷を見せつつあり。目下のところ相場は二弗廿五仙より二弗五十仙までの間を上下しつつある。九月二日開校フレンチヤンプ、ラスローブ、ヘンダーソン、九月三日ボルデン島、イスカロン、ロクホード、マンテカ、ベターソン、ユニホーブ、リンジ島、リキン、スタクトン、ウレシー、ベニス島ビクター、九月十日ホルト、リバテー、ウ

ルーミス　各學校新學期　〔廿八日〕

永い〜思つてるたピクニーションも夢の間にすぎ去つて最早新學期となつたが、ルーミス、ユニオングランマーは九月三日からブン、ハイスクールは九月三日で、ルーミス地方からゆく新入生の登録は八月三十一日土曜日であるさ

●奚兄會日校を開校　農繁期になつて今二ケ月間やすんでゐた日曜學校を來る日曜九月一日から開校

パカビル　〔三十日〕

●都及市の稅金　當ソラノ郡參事員會は去る水曜日開會し一九二九年度及び年度の年期に對し二弗二十八仙、パカビル市會は去る火曜日開會して市稅レートを弗換算し一弗七十仙との決定なれば明年我々財産所有者に對し二弗九十仙となるわけだ。その中の高率は小、中學校稅の八十仙で市の高率四十仙はエンガードメントのボンドファンドであるとの

●本田初子嬢はひさしく癒ず患ひたるが今回カラベラス郡花の都病院に入院したりと

婦人會ニュース

アイルトン

●花の會　來る九月一日サンデー午後二時より婦人會主催のお茶會に七手萬疋を產出してゐたるが、後來横濱商人の手に利益を奪はれたり又は米國行の死魚二弗内外の遺憾捜索に關し去る金曜日當地の領事よりヤウンチーター議に對し依頼のことを打電せり

●パーソナル　河野笹子嬢は過去二ケ年間滞在、ミチヤエル義縫學校卒業してお歸り

米國直輸出

を計畫し同地金魚

組合長内藤守正氏は櫻水産技師幸田伴次郎氏と共に三島丸にて米沙米、特に東部移出の中繼所なる當地の模様を視察したる後卒日六時半日本商船において輸入業者、協議會をひらき同業者および關係者側より金澤、兒玉柳町、鈴木野邊、説田、吉岡の諸氏ならびに商業側より沖田、岡田及び通商部正副部長列席し

取引産地の

協定輸送方法及

支柳ひ金調する了解をひ日本四產の金魚官傳、販路の擴張に關し、略まとまつたので十九日に説ん、略まとまつたので十九日に説ん、略まとまつたので十九日に説ん

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10720. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., SUNDAY, SEPTEMBER 1, 1929.
Copyright 1928 By The Japanese American News
Per Month $ 1.0
Per Year $11.0

CHURCH WILL STAGE MEET ON SEPT. 4-6

Young People's Work Topic at Conclave In This City

The preparatory conference to precede the thirtieth anual meeting of the Pacific Japanese Mission (Sept. 7 to 9) will take place at the local Japanese Methodist Church, 1359 Pine Street, on September 4, 5, and 6.

Of special interest to the young people will be the round table talk on the last day of the preparatory conference. Under the leadership of Miss Yuki Kuwahara, young people's religious director of the local Methodist Church, this meeting will be devoted to the study and discussion of the religious problems facing the second generation Christians. Matters pertaining to the spread of vital Christianity will be thoroughly considered at that time.

This round table talk will be held at the Berkeley Methodist Church following a supper. The supper starts at 6 p. m., and the round table discussion at 7:30 p. m.

One meeting will be held in the East Bay Region. The annual meeting of the Japanese Evangelistic Society, presided by Y. Yamaka, will convene at the Oakland Methodist on the evening of Sept. 5. A fellowship supper at 6 p. m. will precede.

The three-day conference will be featured by other interesting events. Of interest to both the first and second generation members will be the lecture by C. J. Tagashira on "Present Day Japan." It will be held at the local Methodist Church on Sept. 4, 8 p. m. Mr. Tagashira has lately returned from an extensive trip to Japan, where he has obtained a first-hand observation of religious and social conditions.

The program for the three days follows:

WEDNESDAY, Sept. 4th

2 p. m. Spiritual Uplift Service—leader, Y. Yamaka.
Special Address, "My Prayer Experience in the Pastorate" The Rev. Edgar A. Lawther, DD.
6 p. m. Reception and Supper ..... Sho Wa Low
8 p. m. Lecture, "Present Day Japan ..... C. J. Tagashira

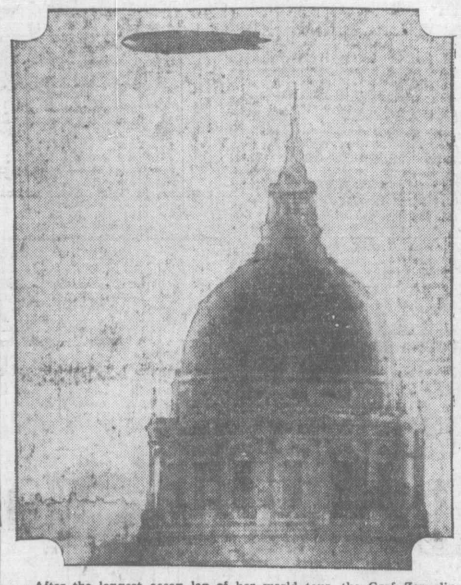
THURSDAY, Sept. 5th

7:15-8:00 a. m. Morning Prayer—T. Miyagi
9:00-9:30 a. m. Devotions—Leader—Y. Oshita
9:30 a. m. Business Session
11:00 a. m. Lecture, "The Preacher's Devotional Life" ..... Y. Norisue
2:00 p. m. Examinations and Committee Meetings
6:00 p. m. Supper at Oakland M. E. Church
7:30 p. m. Annual Meeting of Japanese Evangelistic Society, Pres. Y. Yamaka.

FRIDAY, Sept. 6th

7:15-8:00 a. m. Morning Prayer—Leader, O. Takahashi
9:00-9:30 a. m. Devotions—Leader, T. Fukada.
9:30 a. m. Business Session
11:00 a. m. Lecture, "The Preacher's Intellectual Life" ..... The Rev. Daniel Stevens.
2:00-3:00 p. m. Memorial Service—Chairman, S. Kawashima.
3:00 Address, "Our Task" The Rev. Channing Richardson, D. D.
6:00 p. m. Supper at Berkeley Methodist Church.
7:30 Round Table, Young Peoples' Work. What Program and How to Carry it Out?—Leader, Yuki Kuwahara

Safely Back to United States



After the longest ocean lap of her world tour, the Graf Zeppelin soared over the Pacific Coast near San Francisco en route for Los Angeles where it will prepare for its final stretch to Lakehurst, N. J. Telephoto shows the Graf Zeppelin as it circled San Francisco, with the tower of San Francisco's City Hall in foreground.

A. T. K. PLAYS GAME TODAY

Will Meet Berkeley Japanese Boys At Alameda Ground

ALAMEDA, Aug. 31—While San Jose Asahis invade Watsonville to play one of the important games in Northern California, Bay region baseball fans will be treated to a first class baseball tilt between Alameda Taiiku and the Berkeley Japanese nine Sunday afternoon.

The game will take place at the Alameda Taiiku ground from 2:30 o'clock, it was announced by Towata, manager of the A. T. K.

The Alameda Taiiku was once one of the strongest Japanese nines of this section. According to inside "dope," this year's outfit is said to be even stronger than those of the of the past.

Nothing can be said as to the outcome of the Sunday's game, this being the first game of the season.

From the line up, the team should have no difficulty "on the paper" to win any game.

The Berkeley boys, however, made rapid advancement during the past few weeks both at bat and in fielding. They should be considered worthy opponents.

The Alameda Line-up:
Ide, p; Domoto, p; Hanamura, c; Takagi, 1b; Towata, 2b; Nakayama., 3b; Nogami, ss; Nakano, lf; R. Towata, cf; Takakura, rf.

ENVOY GETS NEW EDIFICE

2 Million Yen to Be Cost of Embassy In Tokyo

Special to The Japanese American News

TOKYO, Aug. 31—A contract for building the American Embassy buildings in Tokyo was awarded to the White & Green Company, contractors, of New York, on the b's made in Washington on August 9, says a dispatch received in Tokyo. The new Embassy quarters are to be built upon the old site of the Embassy at the foot of Reinanzaka, Akasaka-ku, Tokyo, at an estimated cost of ¥2,500,000.

The old buildings were considerably damaged at the time of the big earthquake in 1923. The American Government has since been planning to rebuild the Embassy. The premises are to be somewhat enlarged into about ¥6,700 tsubo (a tsubo equals 36 square feet). The buildings are to be concrete-steel structure, fire and earthquake proof.

MANY SMALLER HOMES

Besides the main office building, there will be residences for the Military and Naval Attaches, Consul-General, Commercial Attache, and also two apartment buildings for other members of the Embassy staff. In addition, a pool will be provided and also two squash courts.

THE WEATHER

OFFICIAL FORECAST:

SUNDAY—San Francisco Metropolitan Area and Marin County. Fair and mild. Moderate Westerly winds.

ENGAGEMENT OF MISS M. NANBU TOLD

Fiance Is Employe of Kansai Trust Co. Of Nippon

The engagement of Miss Marian Nambu, daughter of the proprietress of the Nambu Hotel of this city, and Mr. Eichiro Mikami of the Kansai Trust Company was announced yesterday.

The bride-elect is a prominent second generation girl and graduate of the University of California. Having achieved exceptional scholarship while at the university, where she majored in political science, she was elected member of the Phi Beta Kappa National Honor Society as well as member of the political science honor society.

Mr. Mikami is a graduate of the Imperial University. Formerly the San Francisco branch manager of the Fujimoto Securities Company, he is now associated with the Kansai Trust Company in the capacity of private secretary to its director, Mr. K. Kato. He is expected to leave for Europe today.

The baishakunins for the couple are Mr. and Mrs. K. Abiko and Mr. and Mrs. K. Kato.

The mother of the bride-elect, Mrs. C. Nanbu, tendered them a luncheon Friday at the Nippon Club.

Takao to Preside Over Endeavorers' Devotional Tonight

Christian Endeavor Society of this city will hold its regular Sunday evening devotional meeting at the First Reformed Church Sunday (tonight) at 7 p. m. Heishiro Takao will preside.

Following the service, the members of the society wil proceed with its regular business meeting. All young people are welcome.

REDS, CHINA FIND ACCORD

Moscow Accepts Proposal to Settle Controversy

MOSCOW, U. S. S. R., Aug. 30—The Soviet Government tonighit accepted proposals of China for conclusion of a joint declaration for settlement of all questions arising out of the bitter dispute over control of the Chinese Eastern Railway in Manchuria.

The foreign commissariat expressed willingness to abandon the Russian demand for reinstatement of the same Russian general manager of the railroad as a preliminary to discussions. It offered to seek approval of the Soviet government for appointment of a new manager if China would replace the old chairman of the railroad directorate, whom the Soviet holds directly responsible for the present trouble.

TRAGIC ROMANCE TOLD OF 'DAUGHTER OF 2 WORLDS'

By DAVID GAY

(Continued from yesterday)

The twenty-year-old Japanese boy in Chicago was in a dilemma. He had never worked. He knew nothing about earning money. His mind had been completely absorbed with his studies for a professional career. What was he to do in this strange country, among strange people?

There came a day when he had but $4.00 of his scholarship money left. It had to tide him over a period of four months. He invested it in bottles of milk and loaves of bread, which he kept hidden in the bureau drawers in his room. He lived thru this period—but he paid for it with his health.

Vacation came, but his check did not. He went to work in a factory during the few months of freedom. When the fall came he had $200 saved. But his troubles were not over. His check had not come, and his tuition had to be paid in advance. It was $200. If he paid it, he couldn't eat. If he ate, he couldn't go to school.

Unable to solve the problem, he went to bed—and stayed there for ten days, ill with worry and unable to make up his mind what to do. The woman in whose home he lived had a young and pretty sister, Abbie. The Japanese student had talked with her on occasions when she came to visit. She came one day while he was abed wrestling with his problem. He had not told her sister what was bothering him.

Abbie came into his room and looked at him curiously. "What is the matter with you?" she asked. "Why don't you go to school?"

"If I go to school I can't eat," the boy told her naively. "And if I eat, I can't go to school."

He told her his story. She listened and went away. The next day she returned and came into his room to talk to him. When she was leaving, she offered him her hand. He held it for a moment, and when she was gone he looked down to see a bit of folded paper in his palm.

Curiously Kunitomo unfolded it. He saw his name, Abbie's name, and $200 written in a corner. He had never before seen a check. He did not know it was a check, but he realized that it in some way represented the money he needed. With renewed courage he got and dressed for the first time in days. He took the bit of paper to a bank and learned it was a check. He went to school, paid his tuition, and with the $200 he had left, prepared to put in another two semesters of study.

ABBIE REFUSES MONEY

The following summer Kunitomo went to New York, where Japanese friends told him, he could work in a shipyard and make high wages. After several months of work, he returned to Chicago again with his savings and went again to the American home where he had been so hospitably treated. While in New York he had earned enough to pay Abbie back her loan. He sent her a check. She returned $200 in the form of a money order, the first he had ever seen, explaining that she did not need it and that she knew he would require it for the next winter's schooling.

Back in Chicago, he met Abbie again, humbly, gratefully. The money transaction, he felt, had been in the nature of an obligation which which he had assumed. With his foreign way of reasoning, he came to the conclusion that he owed Abbie something besides the actual money. Something in the nature of a bond had sprung up between them.

Not long afterward, in 1900, when Kunitomo was twenty-one years old and Abbie Sabina McCarthy was nineteen, they were married, with none of the sentimental preludes that precipitate most marriages, he said. He had felt that he owed it to her to propose marriage. She had accepted. They were married. To the Japanese there were more reasons than mere love to motivate a man's proposing marriage to a woman. It was the honorable thing to do, he reasoned.

29 YEAR'S LATER

Twenty-nine years lated there was to be enacted a drama of love, and honor and obligation, in which Kunitomo's daughter played the part his wife had played in their romance, and in which the American was to be the recipient of feminine generosity. But this time the drama was to have a different ending. Honor—in America—was a quality by no means so widely publicized and commended as nerve, the Japa- had yet to learn.

Kunitomo married with his father's consent. He had previously written home about the matter and his father assured him that the Japanese was no longer a citizen of his own country, but was rapidly coming into his own as a citizen of the world.

With his marriage, Young Kunitomo was definitely rooted to a strange country. He was one of a class that was later called the 'first generation of Japanese in America." His two children, born within the next two years, were of the second generation, whose social problems were strangely complicated when immigration laws cut off the stream of new blood from their own country and left them with no alternative, but marrying into American families.

(To be continued)

TOKYO SET TO RECALL 1923 QUAKE

Fire Sirens to Ring 11:50 a. m. Thruout City

Special to The Japanese American News

TOKYO, Aug. 31—The entire city of Tokyo will tomorrow observe the seventh anniversary of the great earthquake with prayer and solemn reflection.

The memory of that great catastrophe, which caused the loss of 110,000 people, will be called to the minds of three million residents when at exactly 11:50 a. m. tomorrow the fire bells and sirens ring for five minutes.

At Honjo, where 30,000 perished in a vacant lot that was once the site of an army supply storehouse, there will be an appropriate exercises, and leading citizens will give addresses commemorating the disastrous event. Grammar schools of the entire city will each hold their own exercises.

The Tokyo Municipal Street Car Bureau will issue transfers on the back of which are stamped messages of temperance and economy.

The various temperance organizations will hold demonstration mass meetings, and at 7 p. m. the schools will show moving pictures depicting scenes of that awful calamity. The City of Tokyo will continue its thrift campaign for the entire week beginning tomorrow.

At 7:58 a. m. tomorrow all traffic will be stopped for one minute, and the entire population will pause for prayer. The Boy Scouts will assist the police in controlling the traffic.

There will also occur a mammoth municipal exercise at Hibiya Park, where Mayor Zenjiro Horikiri will deliver the main address.

College Grads of Japan Apply for Job as Policemen

Special to The Japanese American News

TOKYO, Aug. 31—How university graduates are finding it difficult to get employment is seen from the fact that as many as 27 university graduates took the examinations for policemen on August 15, in Osaka Prefecture alone.

Those who have applied for examination include 2 graduates from Tokyo Imperial University, 12 from Kansai, University, 2 from Meiji University, and one each from Doshisha, Keio, Ritsumeikan and the Hosei Universities.

U. S. QUIZES JAPAN SOLON

Statement Sought in Regard to Tokyo's Navy Program

Special to The Japanese American News

TOKYO, Aug. 31—The United States charge d'affaires today visited the Department of Foreign Affairs and sought explanation concerning Japan's naval expansion program which appeared in the metropolitan dailies yesterday. Foreign Minister Shidehara replied to the American representative that the present naval plans are not yet sufficiently definite to make any satisfactory explanation possible.

TOKYO, Aug. 30—Takeshi Takarabe, Japanese Naval Minister, in a statement to the Associated Press today, admitted the essential truth of reports published here that Japan was considering a new program of auxiliary cruiser construction.

He said newspaper accounts of the proposed cruiser program contained some erroneous figures, but he declined to say what these were.

The accounts said the program included four 10,000 ton cruisers, fifteen first class destroyers and other vessels at a total cost of yen 400,000,000 (approximately $184,000,000), covering six to eight years, and overlapping by two years the present cruiser program.

CLERICS TO BAN LIQUOR AT NUPTIALS

Will Not Hold Rites Where Temperance Is Not Observed

By A SACRAMENTAN

"We wont' marry you, or we won't bury you if you insist in having liquor either before or after the ceremony," are the resolutions plainly worded by the Sacramento Valley Japanese Ministers' Conference at the monthly meeting held last Monday at the parsonage of the Rev. S. Watanabe.

The resolutions in full read:

"We, the Japanese ministers of the Sacramento Valley, rejoice greatly over the fact that the marriage among the second generation Japanese is becoming a common occurrence. At the same time we feel it necessary that the young people should know the sacredness of the marriage services, and the importance of keeping this sacredness throughout their married life.

"We regret to hear occasionally that some people indulge in drinking alcoholic beverage after the wedding service. Not only in marriage ceremonies, but also after the funeral services some people drink or commit themselves to other forms of amusement.

"Knowing that the practice of this sort will affect the morale of society at large, we, the Japanese ministers of the Sacramento Valley, passed the following resolutions.

THE RESOLUTION

"1. We hereby firmly resolve that we, the Christian ministers of the Sacramento Valley district, will not perform the marriage services unless the families of the both parties concerned will in their hoonr pledge that they shall not indulge in the drinking of alcoholic beverage of any kind, at the ceremony or public reception.

"2. At the time of the funeral services, we feel that the deepest respect should be retained towards the soul of the passed-away and his family, and to keep in line with this spirit, we strongly protest against the drinking of alcoholic beverage or the committing of other forms of amusement. And we hereby resolve that we will not perform funeral services unless the parties in charge will pledge that they shall not take alcoholic drink in connection with the service."

This writer may not have the same conception as to the idea of sacredness of the marriage services, he is in full agreement with the resolutions passed by the reverend ministers of this valley. May they always keep their ideals high!

SAC'TO WEEK AGAIN

After long vacation, and from the pursuit of wander-lust, the writer has again returned to this beautiful city, the city by the great Sacramento River, the city that's in the heart of the Golden State of California. He has returned to renew the friendships he has made in this city through this column. May he find more news during the coming year and make this column more interesting, that he may please the editorial staff of this paper.

Are you reading The Japanese American Weekly?

You cannot afford to be without it

THE JAPANESE SECTION OF NUMBER 8 CONTAINS:

SHORT EDITORIAL "Youth and Farms"
THE PRINCESS KIKUKO TOKUGAWA (with photo), the fiancee of the Emperor's brother: her diary and poems
WHAT A WOMAN OF 45 OUGHT TO KNOW. (1)

* * * * *

AMERICAN ETIQUETTE: How to use letters of introduction.
COOKING. Menus. How to use tomatoes in different ways
THE BEST HOURS FOR SHOPPING
HOUSEHOLD HINTS
CARE OF THE BABY; Clothing, temperature of rooms; causes of colds.
CHEWING GUM AND HOZUKI
JOKES

* * * * *

WOMEN'S SOCIETIES: The Reformed Church Women's Society.
ENGLISH LESSONS. Conversation between mother and teacher on the first day of school.
HENRY FORD'S opinion of Prohibition.
LATEST NEWS OF WOMEN IN JAPAN.
QUESTIONS AND ANSWERS
WHAT A MOTHER ought to teach her adolescent daughter
INTERVIEW WITH MISS HAGIHARA, Japan's representative at World Conference of Nurses
THE SEARCHLIGHT
FASHIONS. A little girl's dress, pattern picture. The sleeveless dress and when to wear it.

* * * * *

EDUCATIONAL SECTION:
NEWS OF THE COMMUNITY (in easy Japanese)
NEWS OF THE GAKUYEN
LECTURE: The spirit behind the form
KINDERGARTEN LESSONS: PICTURES
JAPANESE LESSONS. Three grades. For reading with English dictionaries
QUESTIONS AND ANSWERS
JAPANESE PENMANSHIP with examples

* * * * *

JAPANESE LANGUAGE SCHOOLS (8) The Taisho Gakuen in Sacramento
JAPANESE compositions by children
BED-TIME STORIES. "Treasures of the Dwarfs."

THE ENGLISH SECTION OF NUMBER 8 CONTAINS:

OCCUPATIONS: Founding a Children's Theater
A COLLEGE that welcomes everybody
EDITORIAL: Practical vs. Book Learning
POEM: Keepers of the Shield
AUTHOR PREDICTS that Asia will be world center
BOOK REVIEWS: Modern Japan, The No Plays of Japan, Anthologies of Oriental Poetry
BRITISH PRIME MINISTER'S DAUGHTER, her independence and popularity
pictures; Funny poem; Word sketch by Club member; Book Notice
SCIENTIST DISCOVERS rav that will detect false stones and cure colds
GIVING THANKS: The Canticle of the Sun
CUSTOMS AND FORMALITIES of engagement
"LISTEN, NEW AMERICANS".. The .. Sacramento.. Reijo Kwai (with picture of Miss Lorraine Tsuda)
SPORTS AND ATHLETICS: Sources of youthfulness
STORY: A Cherry-Flower Idyll by Madame Yukio Ozaki

* * * * *

EARLY JAPANESE MYTH of swimming
FOOD THAT I LIKE and how to prepare it
PICTURE and description of fashionable dress pattern
JUNIOR PAGE: Club; Story; Riddles; Jokes; Puzzle-

SUBSCRIPTION RATES:

Single Copy	$ .15
One Month	.50
Six Months	2.75
One Year	5.00

For subscribers to The Japanese American News a special inducement will be made through the following rates:

Single Copy	$ .15
One Month	.35
Six Months	2.00
One Year	3.50

The Japanese American News
650 Ellis Street
San Francisco, Calif.
Gentlemen:
Please send The Japanese American Weekly to
____ months to
Name _____
Address _____
_____